



房総の戦国武将の伝承と実像

戦国期の房総は、下総には名門千葉氏やその族臣である原氏、さらに高城氏、上総には武田氏、安房には里見氏があつて、他にも様々な豪族が割拠していました。足利氏の一族であり、関東の覇者を目指した小弓公方も現在の千葉市の生実を拠点としました。

また、古河を本拠とした古河公方足利氏と関東管領上杉氏の対立を基軸にした享徳の乱前後から、房総各地では様々な勢力が角逐し、東葛地域でも、市川合戦、境根原合戦などがありました。

そういう戦国期の房総の武将、あるいは房総に進攻した関東の武将たちには、伝承や逸話も残っています。例えば、千葉氏宗家を滅ぼしてとってかわった馬加康胤には現在も大規模な祭りのテーマとなっている伝承があります。また、なぜか太田道灌にまつわる地名も、柏市周辺に残っています。

そうした伝承には、謎も多く、史実とは違う部分もあると思いますが、一緒に当時の武将の痕跡をたどってみませんか。

馬加康胤の伝承を
テーマとした三山
の七年祭り



二宮神社の前で（船橋市）



馬加康胤ゆかりの三大王神社（千葉市）

日時： 2019年12月22日（日） 13時～15時頃まで（12時半開場）

場所： アミュゼ柏 会議室A

柏市柏6丁目2-22 ⇒ アクセス：柏駅東口より徒歩7分

講師： 当会より

費用： 300円（資料代など）

主催： 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会（会員募集中）

【お問合せ先】

E-Mail： info@matsugasaki-jo.net TEL： 090-3579-5185 森（平日は18時以降で）